

# 健康保険被扶養者(異動)届

常務理事	事務長	課長	係長	主任	担当者

## 尼崎機械金属健康保険組合 様

正

◎被保険者本人が自ら署名する場合には、被保険者本人の押印は不要です。被保険者本人以外の方の押印は省略することができます。被保険者本人が自ら署名する場合には、被保険者本人の押印は不要です。被保険者本人以外の方の押印は省略することができます。

①健康保険被保険者証の記号	②健康保険被保険者証の番号	⑦被保険者の氏名 (氏) (名)	③生年月日 ★昭.5 年 月 日 平.7	④性別 ★男 1 女 2	④異動の別 ★追加 1 削除 2 (変更)	⑤変更内容 (削除(変更)の場合) ★1.死亡 2.氏名変更(訂正) 3.生年月日訂正 4.性別訂正 5.その他	⑥資格取得年月日 年 月 日	⑧標準報酬月額 千円
④基礎年金番号又は手帳記号番号		④郵便番号	⑦被保険者の住所 (フリガナ)			⑧備考		

⑤配偶者基礎年金番号又は手帳記号番号	⑥生年月日(訂正後) ★昭.5 年 月 日 平.7	⑧手帳記号番号	⑨被扶養者(第3号被保険者)になった理由 ★ア.被保険者が被用者保険制度に加入 イ.被保険者の所属する年金制度等の変更 a.厚生年金保険→共済組合 b.共済組合→厚生年金保険 c.共済組合→共済組合 ウ.婚姻 エ.被扶養者の離職(2号喪失) オ.被扶養者の所得減少 カ.その他( )		⑩被扶養者(第3号被保険者)でなくなった理由 ★死亡 その他( )					
⑤被扶養者の氏名 フリガナ (氏) (名)	⑥生年月日 ★昭.5 年 月 日 平.7	⑦性別 ★男 1 女 2	⑧続柄	⑨職業	⑩収入 円	⑪被扶養者になった日 年 月 日	⑫被扶養者でなくなった日 年 月 日	⑬組合にて記入 増・減 認定 削除		
⑭住所 1.同居 2.別居	⑮別居の場合 〒	⑯住民票住所 同左 □	⑰都道府県	⑱市区町村	⑲氏名変更(訂正)年月日 年 月 日	⑳外国人区分 ★0.日本人 1.外国人(帰属) 2.1以外の外国人	㉑被扶養者通称名 (フリガナ)	㉒種別	㉓強制付番指定 ※ 1.強制付番指定	㉔年金手帳作成 ★ 1.年金手帳再交付

①被扶養者でない配偶者を有するときに記入してください。	配偶者の年間収入 円	被保険者の年間収入 円
-----------------------------	---------------	----------------

⑤被扶養者の氏名 フリガナ (氏) (名)	⑥生年月日 ★昭.5 年 月 日 平.7	⑦性別 ★男 1 女 2	⑧個人番号	⑨続柄	⑩職業	⑪収入 円	⑫被扶養者になった日 年 月 日	⑬被扶養者でなくなった日 年 月 日	⑭理由	⑮住所 住所 1.同居 2.別居 別居の場合 〒	⑯組合にて記入 増・減 認定 削除
フリガナ (氏) (名)	★昭.5 年 月 日 平.7	★男 1 女 2				円	年 月 日	年 月 日		住所 1.同居 2.別居 別居の場合 〒	増・減 認定 削除
フリガナ (氏) (名)	★昭.5 年 月 日 平.7	★男 1 女 2				円	年 月 日	年 月 日		住所 1.同居 2.別居 別居の場合 〒	増・減 認定 削除
フリガナ (氏) (名)	★昭.5 年 月 日 平.7	★男 1 女 2				円	年 月 日	年 月 日		住所 1.同居 2.別居 別居の場合 〒	増・減 認定 削除

上記のとおり被保険者から被扶養者の届出がありましたので提出します。

受付印

事業所所在地	〒	平成 年 月 日提出
事業所名称		
事業主氏名		印
電話	( 局)	番

平成 年 月 日 提出

# 健康保険被扶養者確認通知書

## 尼崎機械金属健康保険組合 様

副

◎ 被保険者本人が自ら署名する場合には、被保険者本人の押印は不要です。被保険者本人以外の方の押印は省略することができます。◎ 網掛け部分の記入は必要ありません。ただし、この届書の3枚目の国民年金第3号被保険者にかかる届書を同時に届出する場合には、必ず記入してください。

① 健康保険被保険者証の記号	② 健康保険被保険者証の番号	⑦ 被保険者の氏名 (氏) (名)	③ 生年月日 ★昭.5 年 月 日 平.7	④ 性別 ★男 1 女 2	④ 異動の別 ★追加1 削除2 (変更)	⑤ 変更内容 (削除(変更)の種別) ★1. 死亡 2. 氏名変更(訂正) 3. 生年月日訂正 4. 在留訂正 5. その他	⑥ 資格取得年月日 年 月 日	⑦ 標準報酬月額 千円
⑧ 基礎年金番号又は手帳記号番号		⑨ 郵便番号	⑩ 被保険者の住所 (フリガナ)			⑪ 備考		

⑫ 配偶者基礎年金番号又は手帳記号番号	⑬ 生年月日(訂正後) ★昭.5 年 月 日 平.7	⑭ 手帳記号番号	⑮ 被扶養者(第3号被保険者)になった理由 ★ア. 被保険者が被用者保険制度に加入 イ. 被保険者の所属する年金制度等の変更 a. 厚生年金保険→共済組合 b. 共済組合→厚生年金保険 c. 共済組合→共済組合 ウ. 婚姻 エ. 被扶養者の離職(2号喪失) オ. 被扶養者の所得減少 カ. その他( )	⑯ 被扶養者(第3号被保険者)でなくなった理由 ★ 死亡 その他( )				
⑰ 被扶養者の氏名 フリガナ (氏) (名)	⑱ 生年月日 ★昭.5 年 月 日 平.7	⑲ 性別 ★男 1 女 2	⑳ 続柄	㉑ 職業	㉒ 収入 円	㉓ 被扶養者になった日 年 月 日	㉔ 被扶養者でなくなった日 年 月 日	㉕ 組合にて記入 増・減 認定 削除
㉖ 住所 1. 同居 2. 別居	㉗ 氏名変更(訂正)年月日 年 月 日	㉘ 外国人区分 ★ 日本人 1. 外国人(在留) 2. 以外の外国人	㉙ 被扶養者通称名 (フリガナ)	㉚ 種別	㉛ 強制付番指定 ※ 1. 強制付番指定	㉜ 年金手帳作成 ★ 1. 年金手帳再交付		

㉝ 被扶養者でない配偶者を有するときに記入してください。	配偶者の年間収入 円	被保険者の年間収入 円
------------------------------	---------------	----------------

⑰ 被扶養者の氏名 フリガナ (氏) (名)	⑱ 生年月日 ★昭.5 年 月 日 平.7	⑲ 性別 ★男 1 女 2	⑳ 続柄	㉑ 職業	㉒ 収入 円	㉓ 被扶養者になった日 年 月 日	㉔ 被扶養者でなくなった日 年 月 日	㉕ 理由	㉖ 住所 住所 1. 同居 2. 別居 住民票住所 同上	㉗ 組合にて記入 増・減 認定 削除
フリガナ (氏) (名)	★昭.5 年 月 日 平.7	★男 1 女 2			円	年 月 日	年 月 日		住所 1. 同居 2. 別居 住民票住所 同上	増・減 認定 削除
フリガナ (氏) (名)	★昭.5 年 月 日 平.7	★男 1 女 2			円	年 月 日	年 月 日		住所 1. 同居 2. 別居 住民票住所 同上	増・減 認定 削除
フリガナ (氏) (名)	★昭.5 年 月 日 平.7	★男 1 女 2			円	年 月 日	年 月 日		住所 1. 同居 2. 別居 住民票住所 同上	増・減 認定 削除

上記のとおり被保険者から被扶養者の届出がありましたので提出します。

受付印 上記のとおり(認定・削除)しましたので通知します

尼崎機械金属健康保険組合理事長

事業所所在地 〒 - 平成 年 月 日提出

事業所名称

事業主氏名 ( 局) 様

電話

平成 年 月 日提出

届書コード	処理区分	届書

## 国民年金第3号被保険者

資格取得・種別変更・種別確認(3号該当)  
 資格喪失・死亡届  
 氏名・生年月日・性別変更(訂正)  
 被扶養配偶者非該当

事務センター長 所長	副事務センター長 副所長	グループ長 長	担当者

◎被扶養者の届出が、配偶者(20歳以上60歳未満)以外の場合は、この届書は提出する必要はありません。

第3号被保険者の届出欄	配偶者の氏名		配偶者の生年月日		第3号該当・非該当 ★該当 非該当(変更)	変更内容 非該当(変更)の場合 ★1.死亡 2.氏名変更(訂正) 3.生年月日訂正 4.性別訂正 5.その他
	(氏)	(名)	★昭.5 平.7	年 月 日		
配偶者基礎年金番号又は手帳記号番号		共済番号表示	郵便番号	配偶者の住所		備考
		※1.配偶者共済番号表示		※住所コード(フリガナ)		

第3号被保険者欄	基礎年金番号又は手帳記号番号		生年月日(訂正後)		手帳記号番号		被扶養者(第3号被保険者)になった理由		被扶養配偶者でなくなった理由	
			★昭.5 平.7				★ア.配偶者が被用者年金制度に加入 イ.配偶者の所属する年金制度等の変更 a.厚生年金保険→共済組合 b.共済組合→厚生年金保険 c.共済組合→共済組合 ウ.婚姻 エ.本人の離職(2号喪失) オ.本人の所得減少 カ.その他( )		★死亡 年	
	⑤ 被扶養者の氏名		⑥ 生年月日		⑦ 性別		被扶養者になった日		被扶養者でなくなった日	
	フリガナ (氏) (名)		★昭.5 平.7		★男 1 女 2		年 月 日		年 月 日	
住所	1.同居 2.別居	別居の場合 〒	氏名変更(訂正)年月日		外国人区分	被保険者通称名		種別(注)	強制付番指定	年金手帳作成
					★0.日本人 1.米国人(強制) 2.1以外の外国人	(フリガナ)			※1.強制付番指定	★1.年金手帳再交付
訂正後取得年月日・種別		要年金手帳送付	受給権確認表示	納付書抑止表示		送信				
※年 月 日 ※		1.第1号・第3号 2.任意	※下記以外は省略 1.65歳以上の扶養配偶者が受給権を有さない と確認された場合	※1.納付書作成しない						

事業主等受付年月日	※年金事務所	
	受付印	被扶養者認定
	被扶養者認定年月日	

(注) 30	第3号A(厚生年金保険・船員保険)	36	第3号G(地方公務員等共済組合)
31	第3号A(厚生年金保険・健康保険)	37	第3号J(日本私立学校振興・共済事業団)
32	第3号C(国家公務員共済組合)		

上記のとおり被保険者から第3号関係の届出がありましたので提出します。

○ 届書記載の基礎年金番号又は年金制度の記号番号は、当該配偶者のものに相違ないことを確認する。

平成 年 月 日提出

事業所所在地 〒

事業所名称

事業主氏名 印

電話 ( 局) 番

上記のとおり被保険者から第3号関係の届出がありましたので提出します。

○ 届書記載の被保険者は、健康保険又は共済組合に加入している者の被扶養者であることを確認する。

認定年月日 平成 年 月 日  
 (資格取得(種別変更・種別確認)年月日と同じ場合は記載の必要はありません。)

平成 年 月 日提出

(医療保険者) 所在地

名称

代表者等氏名 印

電話

この届書記載のとおり届出します。

日本年金機構理事長 殿

平成 年 月 日提出

(届出人) 住所

氏名 印

電話 ( 局) 番

## 健康保険被扶養者（異動）届及び国民年金第3号被保険者にかかる届書の記入にあたって

この届書は、健康保険被扶養者（異動）届と国民年金第3号被保険者の届書を一体化した複写式となっています。そのため1枚目の健康保険被扶養者（異動）届には、3枚目の国民年金第3号被保険者の届書にのみ必要な記入欄（網掛け部分）を設けてありますが、健康保険被扶養者（異動）届のみを届出する場合は、網掛け部分は記入する必要はありません。また、国民年金第3号被保険者の届書を同時に届出する場合は、網掛け部分と、3枚目の国民年金第3号被保険者の届書の届出人欄を必ず記入してください。

### 【記入上の注意】

1. この届書は複写式になっていますので、文字は、ボールペンを用いて楷書ではっきり記入してください。
2. ★印の箇所は、該当する項目の数字等を○で囲んでください。
3. ※印の箇所は、記入しないでください。
4. 生年月日や資格取得年月日など年月日を記入する場合は、たとえば、平成22年4月1日の場合は、

2	2	0	4	0	1
---	---	---	---	---	---

のように記入してください。

### 【記入の方法】

1. ④は、被保険者資格取得届と同時に提出するときは記入しないでください。それ以外の場合は、被扶養者が増えたときは「追加1」を、減ったとき又は被扶養者の氏名等に変更があったときは「削除（変更）2」を○で囲んでください。
2. ②及び③は、その他の場合は、カッコ内に理由を記入してください。
3. 配偶者の生年月日は、生年月日に訂正のない場合は、「⑥生年月日」のみを記入し、「⑥生年月日（訂正後）」は記入しないでください。訂正がある場合は、「⑥生年月日」及び「⑥生年月日（訂正後）」を記入してください。
4. ⑧は、被保険者との続柄を、「夫」、「妻」、「父」、「母」、「子」、「祖父」、「祖母」などと記入してください。
5. ⑨は、被扶養者になった日を記入してください。
6. ⑩は、被扶養者でなくなった日を記入してください。
7. ⑦は、被保険者と同居しているときは、「同居」に○で囲んでください。別居しているときは郵便番号及び住所を記入してください。
8. ②は、⑦の住所と同じ場合、「同左」にチェックを入れてください。なお、その場合は隣の住所の記入は不要です。
9. ②は、被扶養者でない配偶者を有するときに記入してください。
10. ③は、被扶養者になったときは、「出生」、「離職」など、被扶養者でなくなったときは、「就職」、「死亡」などの事実を具体的に記入してください。
11. ⑤は、氏名の変更（訂正）を行う場合は、変更（訂正）前の氏名を記入のうえ二重線で末梢し、その上段に変更（訂正）後の氏名を記入してください。
12. ⑦は、性別の訂正を行う場合は、訂正後の性別を○で囲んでください。

### 13. 第3号被保険者（20歳以上60歳未満の配偶者）に関する届出を行うときは、以下のとおり記入してください。

- (1) ②は、死亡又は氏名等の変更（訂正）の届出を行う場合又は第3号被保険者が被扶養配偶者に該当しなくなったときの届出を行う場合に記入してください。
- (2) ④は、被扶養者になったときの届出を行う場合に記入してください。  
被保険者が基礎年金番号を持っていない場合は、この届書の3枚目の「組合（保険者）番号」欄に、加入年金制度の組合（保険者）番号を記入してください。
- (3) ③は、配偶者の基礎年金番号又は手帳記号番号を記入してください。
- (4) ④は、基礎年金番号の他に年金手帳番号を持っている場合に記入してください。
- (5) ⑦は、氏名の変更（訂正）の届出を行う場合に記入してください。
- (6) ①は、被扶養者になったときの届出を行う場合又は氏名の変更（訂正）の届出を行う場合に記入してください。
- (7) ②は、被扶養者になったときの届出を行う場合に記入してください。
- (8) ③は、被扶養者になったときの届出を行う場合に、この届書の3枚目の(注)を参照し、被保険者の加入する年金制度に該当する2けたの数字を記入してください。
- (9) この届書の3枚目右下の届出人記入欄に、この届書の提出年月日、届出人の住所、氏名及び電話番号を記入し、押印してください。（配偶者が記入した場合は押印の必要はありません。）

### 【この届書に添付して提出するもの】

1. 18歳以上の方を届出るときは、別紙“扶養現況届”及び必要証明書類を添付してください。（必要証明書類は扶養現況届で確認してください。）

### 2. 第3号被保険者（20歳以上60歳未満の配偶者）に関する届出を行うときは、以下の書類。

- (1) 「配偶者の年金手帳」など。（配偶者が死亡した場合を除く。）
- (2) 被扶養者になったときの届出を行う場合は、「健康保険の被保険者の年金手帳」など。

※ 事業主が健康保険の被保険者の基礎年金番号を確認・証明する場合は、健康保険の被保険者の年金手帳を添付する必要はありません。